

## 1. 準備

(製品名・機種型番等は、現時点でバイオバンクが採用しているものを提示している)

- ベノジェクト® II 真空採血管 (EDTA-2Na) 7 mL (TERUMO)
- 1.0 mL 2Dバーコード付チューブExternalキャップ (FCR & Bio または ワケンビーテック)
- 1.0 mL 2Dバーコード付チューブExternalキャップ対応フリーズボックス196穴 (14×14) (FCR & Bio または ワケンビーテック)



ベノジェクト® II 真空採血管  
(EDTA-2Na) 7 mL  
(TERUMO)



1.0 mL 2Dバーコード付チューブ  
Externalキャップ  
(FCR & Bio) または (ワケンビーテック)

## 2. 採血と分離 (臨床検査部での作業)

- 2-1. 準備した採血管に採血。
- 2-2. 室温で $2,330\sim 2,360\times g$ 、5分間遠心分離。
- 2-3. 冷蔵庫に一時保存 (保存時間は個別検体情報として記録)。

## 3. 分注 (バイオバンク試料調整室での作業) 室温 (12℃~28℃)

- 3-1. 保存している血漿をバイオバンクに移送 (on ice)。
- 3-2. 検体番号ラベルを貼ったチューブに (300  $\mu$ L /tube) 分注。

## 4. 保管 室温 (12℃~28℃)

- 4-1. チューブはフリーズボックスに並べ、超低温 (-80℃) フリーザーで保管。
- 4-2. 検体管理システムに検体情報を入力。

➤ 採取~超低温 (-80℃) フリーザーでの保管は24時間以内に行う。